

「Whole Genome Association 解析による GVHD 等合併症の原因遺伝子の探索」へのご協力をお願い

1. 意義

造血幹細胞移植における移植片対宿主病 (GVHD) などの合併症は、移植治療における重要な問題ですが、その病態はまだわかっていないことが多く、治療法も確立していません。そこで、日本骨髄バンクを通じて移植が行われた約 1800 対のレシピエントおよびドナーを対象として、ゲノムワイド関連解析という手法を用いて、同種造血幹細胞移植における合併症の発症に関与する遺伝子多型を探します。すでに約 1800 対の SNP データを取得して、急性 GVHD の発症に関するデータを取得して発表しています。今後はこのデータを利用して、慢性 GVHD の発症や、急性・慢性 GVHD との異同が問題となる肝中心静脈閉塞症 (VOD) や閉塞性細気管支炎 (BO) など様々な合併症の発症と相関を示す SNP の同定を目指します。こうした GVHD 等合併症の発症に関与する遺伝的多型を同定することは、移植時の GVHD 等合併症の発症を回避し移植成績の向上を図る上で極めて重要であると考えます。

2. 研究の方法

- 1) 対象 1993 年方 2005 年に、日本骨髄移植推進財団を通じて非血縁者間造血幹細胞移植を受けた血液疾患の患者さんおよび幹細胞の提供をおこなったドナーさんです。
- 2) 方法 すでに上記の期間で移植をおこなった患者さんおよびドナーさんの遺伝子多型検査 (SNP タイピング) を終えています。今後は、これらの移植における臨床データを用いて、ゲノムワイド関連解析という手法を用いて合併症の遺伝的背景を解析します。
- 3) 研究期間 倫理委員会承認日～2021 年 3 月 31 日

3. 研究機関

研究代表者 京都大学 腫瘍生物学講座 小川誠司

研究実施医療機関および責任医師：

愛知医科大学 造血細胞移植振興寄附講座 森島泰雄、名古屋大学大学院医学系研究科 村田誠、日本赤十字社関東甲信越ブロック血液センター 佐竹正博、柏瀬貢一、藤田保健衛生大学 赤塚美樹、琉球大学 森島聡子、東海大学 猪子英俊、鬼塚真仁、骨髄移植推進財団 小寺良尚、日本造血細胞移植データセンター 熱田由子

4. 試験の情報と同意の撤回

- ・この研究は、京都大学および各参加施設の倫理委員会の承認を受け、その機関の長の許可を受けて行っています。
- ・他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内での研究に関する資料を閲覧する事ができます。その場合は、下記問い合わせ先までご連絡下さい。
- ・上記の期間に検体を提供された方は、ご本人またはその代理人の求めがあれば、同意の撤回を行うことができます。同意を撤回される場合は、<http://www.jmdp.or.jp/recipient/flow/kentai.html> をご覧下さい。手続きが記載されています。その場合頂いた情報や検体を破棄いたします。ただしすでに解析を終了している場合、同意書が 10 年の保存期間を経て破棄されている場合は撤回できないことがあります

5. 問合せ先 京都大学医学部腫瘍生物学講座 南谷泰仁

住所：〒606-8501 京都市左京区吉田近衛町 医学部 F 棟 2 階 TEL：075-753-9285

6. 相談窓口 京都大学大学院 医学研究科 総務・人事室 利益相反掛 TEL：075-753-4305